

『農福連携 栽培技術基礎講座』の 報告会および閉講式を開催しました

岐阜県では、農業分野での障がい者の活躍による新たな人材育成とともに、障がい者の社会参画を実現する取組みとして「農福連携」を推進しています。本校において、農業と福祉の橋渡しを行う人材の育成を目的として、福祉関係事業所の支援員等を対象に、「農福連携栽培技術基礎講座」を実施してきました。

令和4年度の講座の修了にあたり11月18日に報告会と閉講式を開催しました。

報告会では、受講者から今後実施したい農福連携活動について報告していただきました。

受講者からは、「施設の利用者さんには、農業を通じて社会に参加するきっかけとなり、働いて得られる達成感を感じてもらいたい」とか、「農福連携を農業と福祉の連携だけに留めず、地域生活や社会課題の解決に向け関係機関と有機的なつながりを構築したい」といった今後の抱負などの発表がありました。

閉講式では、修了証書授与が行われ、ぎふアグリチャレンジ支援センターの川瀬センター長から激励の言葉をいただきました。

新型コロナウイルス感染症が収束しない中、貴重な時間を割いて講座に参加していただき、ありがとうございました。皆様の今後のご活躍を期待しております。



<報告会の様子>



<閉講式の様子>